

令和4年度 建設経済部の運営方針

建設経済部長

中川 敬司



建設経済部の組織体制

建設課	都市計画課
商工観光課	農林課
茶業振興課	



基本方針



- 安定した農業経営を目指し、農業基盤の強化を図り、若手生産者の育成や法人化による経営規模の拡大及び農産物のブランド化を推進し、時代を先取る菊川型農業モデルの創出に取り組みます。
- 活力ある茶業の振興を推進するため、茶業経営体の育成による組織的な茶業経営や生産性の向上を進め、深蒸し菊川茶のブランドの確立や宣伝及び消費拡大事業に取り組み、併せて茶文化の継承に努めます。
- 市内企業の支援と進出企業の獲得に努め、併せて若者や女性、高齢者などの就労機会の拡大に努めます。また、農業・商業・工業・観光などの産業振興を図るとともに、市の魅力や情報の発信に努めます。
- 幹線道路や生活道路などインフラの整備を推進するとともに、引き続き各種インフラの適正な維持管理と長寿命化や耐震化を図り、良好な住環境づくりを推進します。

重点的に取り組む施策・事業

1	農業振興と次世代農業モデルの推進 (農林課)	2 負債を ゼロに 	8 働きがいも 経済成長も 			
現状・課題	農業経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、将来にわたって地域の農地利用等を担う農業経営者を確保するため、経営を継承した後継者が、その経営を発展させることが求められています。		達成目標 補助対象者を2人以上確保します。 (令和4年度新規事業)			
取組内容	新たな担い手を支援するため、補助事業(経営継承・発展等支援事業費補助金)を活用するとともに、市、県、JA等の関係機関との連携により、経営規模拡大の支援に取り組みます。					

2 荒廃農地の解消 (農林課)		2 飢餓をゼロに 	8 働きがいも経済成長も 			
現状・課題	農業者の高齢化や担い手不足に伴い、荒廃農地が増加しています。農業生産の基盤となる優良農地を確保・保全するため、荒廃農地の解消に向けて取り組んでいく必要があります。					達成目標
	地域の大切な農業生産の基盤となる農地を確保・保全するため、補助制度（荒廃農地再生・集積促進事業費補助金等）の活用や農業委員会との連携により、荒廃農地の解消に取り組みます。					
達成目標						荒廃農地を3ha以上解消します。 (令和3年度実績：4.2ha)

3 活力と魅力ある菊川茶の振興 (茶業振興課)		2 飢餓をゼロに 	11 住み続けられるまちづくりを 			
現状・課題	菊川市が活力ある茶産地として維持・発展し、更に菊川茶産地の名声を高めるため、茶業関係者が一体となって取り組む「菊川市茶業振興計画」が令和4年度末に終期を迎えます。近年の茶業は、茶価の低迷・生産者の高齢化・後継者不足など大変厳しい状況が続いている一方で需要の面では、コロナ禍による巣ごもり需要の増加、海外への輸出量の増加など社会情勢が変化しています。このような現状への課題と変化する社会情勢に対応した、新たな「菊川市茶業振興計画」の策定が求められています。					達成目標
	多様化する消費者ニーズに対応し、生産者が安定して茶の生産を行うことができる茶業を目指し、菊川市茶業審議会や菊川市茶業振興計画検討委員会等から意見集約を行い、新たな「菊川市茶業振興計画」を策定します。					
達成目標						「第2次菊川市茶業振興計画」を策定します。

4 茶園整備と集積による生産性の向上推進 (茶業振興課)		2 飢餓をゼロに 	11 住み続けられるまちづくりを 			
現状・課題	生産者の高齢化などにより担い手や生産者が減少するなか、高い意識を持ち意欲的に取り組んでいる農業者も多くいます。茶業経営を継続して行うためには、小区画や分散する茶園を集積し機械化に対応した茶園の整備を行い、生葉生産の効率化と省力化を図る必要があります。					達成目標
	茶業の生産性の効率化と省力化を図るため、農地中間管理機構と連携し小区画や分散する茶園の集積を進めます。					
達成目標						農地中間管理事業により5.0ha以上の茶園集積を実施します。 (令和3年度実績：4.8ha)

5 商工業の支援と推進 (商工観光課)		5 ジェンダー平等を実現しよう	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう		
現状・課題	人口減少時代においては、働く場の確保は重要であります。新たな工業用地を確保し、市内既存企業の更なる支援と新規企業の誘致を図って行く必要があります。また、高齢化に伴う中小企業・小規模事業者の廃業による地域経済やコミュニティの衰退を抑制するため、市内事業者の円滑な事業承継を促進し、地域経済の持続的な発展を図って行く必要があります。				達成目標	事業承継セミナーを1回以上開催するとともに、市内事業所へ事業承継パンフレットを活用し事業承継の必要性について周知します。 (市内事業者数：1,918事業所) ※令和元年経済センサス基礎調査
取組内容	円滑な事業承継を促進するため、新たにパンフレットを作製し、市内中小企業・小規模事業者に配布することで事業承継の必要性について周知します。					

6 地域資源を活かした観光の推進 (商工観光課)		8 働きがいも経済成長も				
現状・課題	地域資源を活かし、市民力を活用した体験型イベントや体験型ツアーを企画・実施し、交流人口の増加を図り、市の魅力発信を引続き行って行く必要があります。また、併せて、新型コロナウイルス感染症の状況にあわせた形でイベントやツアーを実施し、点から線・面での魅力発信をして行く必要があります。				達成目標	火剣山キャンプ場の利用者数を令和3年度実績より200人以上増やします。 (令和3年度実績：2,066人)
取組内容	火剣山キャンプ場や獅子ヶ鼻砦などの地域資源を活用し、菊川市観光協会や地域おこし協力隊と連携して誘客を図ります。					

7 J R 菊川駅南北自由通路の整備 (都市計画課)		9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを			
現状・課題	住んでよかった住み続けたいと思われるまちであるためには、住宅や道路、緑地、公共交通などの社会基盤が整備された、良好な住環境が求められています。日常生活の安全性や利便性の向上を図るとともに、地域・集落間を結ぶ交通機能を兼ね備えた都市計画道路の整備を進める必要があります。更に、ポテンシャルを活かした菊川駅南北自由通路の整備を進めるとともに、引き続き、駅北地域のまちづくりを検討して行く必要があります。				達成目標	J R 菊川駅南北自由通路整備工事に着手するための令和4年度に予定する南口駅前広場仮設工事を完了します。
取組内容	本市の玄関口としてふさわしい駅を中心とした南北市街地の均衡ある発展を図るため、J R 菊川駅南北自由通路の整備を促進します。					

8 道路施設の長寿命化 (建設課)		9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを			
現状・課題	移住・定住地として選ばれるためにも、住環境整備は重要であります。市内・市外への幹線道路を計画的に整備し、生活道路や公園等の整備や長寿命化を推進していく必要があります。市内のインフラ施設の健全性を維持していくことで生活の利便性が継続されるほか、緊急時においても通行の手段が確保されるよう長寿命化を図る必要があります。	達成目標 令和4年度に予定する長寿命化事業を完了します。				
取組内容	道路ネットワークの維持及び長寿命化を図るため、橋梁の点検・補修工事及びトンネルの補修工事を実施します。					

9 住宅・建築物等の耐震化の促進 (都市計画課)		11 住み続けられるまちづくりを				
現状・課題	地震から住民の生命、財産を守るとともに、発災後の応急対応や復興における社会全体の負担を軽減するため、住宅及び建築物等の耐震化が必要です。 また、防災上重要な道路沿いにあり、倒壊による道路閉塞を防止する必要がある建築物については、重点的に支援を行う必要があります。	達成目標 補強工事10件を達成します。 (令和3年度実績: 3件)				
取組内容	耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化及び危険なブロック塀の撤去・改善を推進するとともに、防災上重要な道路沿いにあり、倒壊による道路閉塞を防止する必要がある建築物の耐震化を進めます。					

10 幹線道路の整備 (建設課)		9 産業と技術革新の基盤をつくろう				
現状・課題	幹線道路は市内外を連絡し、物流や地域間の交流を円滑にするばかりでなく、緊急時の対応や生活環境の向上および通学路の安全対策などの役割を果たすものであります。幹線道路でも幅員の狭い未改良区間などが存在しているため、整備促進を図る必要があります。	達成目標 令和4年度に予定する大須賀金谷線の道路改良整備を完了します。				
取組内容	生活環境の向上や通学路の安全対策、公共施設への連絡として市内東西交通の幹線道路である大須賀金谷線の道路改良整備事業の早期完成を目指します。					